

生活

生活にナニカト役立つ連載コラム 「つぶやきがんちゃん」の 知恵袋 Vol.45



今日のテーマ

FPIに相談するということ…!? Part3 (ライフプランニングと資金計画)

「ライフプランニング」「カタカナ」だと難しそうな感じがするかもしれないが、つまりは「生活設計」だ。今回のテーマはファイナンシャルプランナーとして、最も中心的な仕事と言える。

今後、相続や税金のテーマも取り上げていくが、他のテーマも突き詰めていくと、その殆どがライフプランニングに突き当たるといっても過言ではない。言い換えれば、保険・年金・相続・税金・不動産などのそれぞれはライフプランニングとつなげて考えなければならないものである。

例えば、住宅ローンを組む際に、将来の教育費の支出や、老後の生活設計を当然に意識しなければならないが、今現在の家計で支払えるからと見切り発車した結果、返済途中で行き詰まることになりかねない。では、この重要な「ライフプランニングと資金計画」を、自信をもって「立てている」、と答えられる方はどれだけいるのだろうか？「他人に家計の中身をさらけ出すなんてとんでもない」、それに「やけに面倒くさそうだ」、と思われている方も少なくないはずだ。そうと知りつつ、FPとしてどうしてもお伝えしておかなければならない。

近年の環境変化を考えれば、これから先の時代では手放しではいられない。多世代同居から核家族化へ、生活費の高コスト化、教育費負担の増大、異常とも取れる低金利、低迷を続ける給与所得、不安定さを増す社会保険制度(年金・健康保険)などの環境変化は、いよいよ自己責任・自助努力が求められる。江戸っ子のごとく「宵越しの金は持たねえぜ…!」とは言っていられないし、将来に対する漫然とした不安を解消せずに放置すること、それこそが面倒なことになってしまう。

家計の健康診断をし、病気にならないように健康の維持・管理、病気に罹ってしまった後の原因究明と処置を行う「ファイナンシャルプランナー」との関わりを、いつもそばにいる「かかりつけのドクター」と位置づけて欲しいものだ。



改めてライフプランニングとは
以前にもライフプランニング(生活設計)を取り上げたことがあるが、改めて考えてみる
としよう。
プランを立てるといふことは、何か特別なことを考えないといけないように思うかもしれないが、そんなことは無い。極々当たり前の

- ライフプランニングの手順**
- ☑STEP1 ライフイベント(将来に資金が必要とされる生活上のイベント)の確認と人生設計
 - ☑STEP2 収入の推移(給与等)、保有資産(預貯金・不動産等)の確認
 - ☑STEP3 キャッシュフロー表(長期的にわたる将来的な収支の表)作成と、それによる問題点の掘り起こし
 - ☑STEP4 問題解決に向けたライフプラン(生活設計)の作成
 - ☑STEP5 プランの実行
 - ☑STEP6 定期的なメンテナンスと支援



一生懸命
つぶやきます



プロフィール
さいとう ひろかつ
齋藤 廣勝

株式会社
トータルライフサポート代表取締役

- CFP®サーティファイドファイナンシャルプランナー
- 1級ファイナンシャルプランニング技能士
- 日本商工会議所 年金退職金等認定講師
- 住宅ローンアドバイザー

保険と暮らしの相談センター

住宅ローンの見直し相談会実施中!!

ひとつでもあてはまる方は、お気軽にご相談ください!!

- ☑現在の返済額を軽減したい
- ☑住宅ローンを借りているが、一度も見直したことがない。
- ☑現在借りている住宅ローンの内容がよくわからない。
- ☑借換と繰上返済、それぞれの効果を比較したい。

お気軽にご相談ください。

株式会社
トータルライフサポート
〒010-0916 秋田市泉北3丁目17-22
●営業時間：9:30~19:00 ●定休日：水曜日
TEL 018-827-7611
FAX 018-827-7610
URL http://tls-akita.co.jp



ことを、少し具体的に整理し、まとめ上げるだけのことである。

このライフプランを大別すると、「将来に予測される出来事(イベント)」と、それぞれが「将来に実現したい夢や目標」とに分けられる。前者はプランというよりはやがて訪れるものであり、後者はそれぞれの人生における固有のものと言える。

超ロングセラーの「人生ゲーム」なるものがあるが、人の一生における出来事がリアルに表現され、実に良く出来ている。誰もが一度は目にしたことがあるのではないだろうか。自身の人生をゲームには出来ないが、予測されるイベントと目標を時系列に整理し、それに収入と支出を重ね合わせることにより、潜在していた問題点や不足する資金が明確になってくる。これが「キャッシュフロー表(表1)」であるが、良くも悪くも将来が展望できることになる。恐ろしくても見ることが出来ないと言われることがあるが、おそらく感覚的に問題の所在を理解しているのかもしれない。であればなおさらのこと、パンドラの箱を開けて将来を覗いてみる必要があるのではないだろうか？

ライフプランニングと資金計画

このテーマにFPが関わりを持つことは、先ず「キャッシュフロー表」を作成することから始まる。将来にわたる収支バランスの確認と、問題の所在を明確にするためにも、とりわけ重要な作業となる。

- ①「キャッシュフロー表」で何が見えるかということ、
- ②住宅ローンを予定の金額・期間で組んだ場合、将来の収支はどうなるか？
- ③世帯主に万が一のことがあった場合、残された家族の生活は大丈夫か？

③ 子供が予定した進路に進んだ場合の教育資金は足りるのかどうか？

④ 定年後の年金額は希望する生活費に足りるかどうか？

⑤ 予定しているマイカーの購入や家族旅行は家計にどんな影響があるか？
などなどの答えが見えてくる。

ここから先は、改めて「ライフプランニングと資金計画」を練り直し、問題解決に向けた対策を提案するという流れだ。

健康と生命の維持をドクターに依存するようになり、安定した家計の維持と問題解決に関わるFPの役割は大きいと思うのだが…。

ライフプランニングは人生設計

それぞれの人生における夢や目標を書き出し、どのような将来を送りたいかを明確にする必要がある。それを書き出す事と「キャッシュフロー表」の作成により、あなたが思っている未来に対する収支が見えてくるはずだ。描いた設計を実現するために、問題そのものの改善と収入や支出を見直し、どのように貯蓄し、どのようにお金を使っていくかを考えなければならぬ。それは、家族全員で価値観を共有し将来を見通せることとなる。それまでのプロセスは楽しめるものであるし、人生を設計することに他ならない。

来月号は…!

「リタイアメントプランニング」(退職後の生活設計)と、ファイナンシャルプランナーとの関わり方について考えてみよう。

【表1】キャッシュフロー表

単位:万円

西暦	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
経過年数	現在	1年後	2年後	3年後	4年後	5年後	6年後	7年後	8年後	9年後	10年後
年齢	本人	35歳	36歳	37歳	38歳	39歳	40歳	41歳	42歳	43歳	44歳
	妻	33歳	34歳	35歳	36歳	37歳	38歳	39歳	40歳	41歳	42歳
	長女	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳
	長男	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳
イベント	車の買替	住宅新築(資金援助)	TDL旅行				長女 高校進学		長男 高校進学	長女 大学進学	
収入	給与収入(夫)	480	482	485	487	490	492	495	497	500	502
	給与収入(妻)	120	120	120	120	120	120	121	122	123	124
	年金収入(夫)										
	年金収入(妻)										
	その他収入(退職金等)										
①収支合計	600	602	605	607	610	612	616	619	623	626	630
支出	基本生活費(食費、光熱費、衣料費など)	240	240	241	241	242	242	243	243	244	244
	住居費(家賃、住宅ローンなど)	66	66	423	123	123	123	123	123	123	123
	教育費(学費、塾代、教育関係費など)	63	63	64	80	81	97	103	104	109	228
	保険料(生命保険料、損害保険料など)	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60
	その他の支出(交際費、趣味、娯楽費など)	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45
	一時的支出(車の買い替え、旅行など)		250	30							
	②支出合計	474	724	833	579	551	567	574	575	581	700
③年間収支(①-②)	126	-122	-228	28	59	45	42	44	42	-74	
④貯蓄残高(前年の④+今年の③)	400	278	50	78	137	182	224	268	310	236	